

県図なう。

令和4年2月15日
第131号（毎月15日発行）
http://www.library.pref.kagoshima.jp
Tel：099-224-9511

鹿児島県立図書館の“今（ナウ）”をお知らせし、図書館と利用者を結ぶ情報紙です。

県立図書館
ホームページ

県立図書館
フェイスブック



鹿児島県立図書館

ホットニュース

研修室の一般利用貸出について！

県立図書館では、館内にある研修室の一般利用貸出を行っています。各種文化活動や研修会、講演会などの会場探しにお困りの際は、当館研修室の利用については是非御検討ください。

御利用できる研修室は、全4部屋です。用途や御予算に応じて、お好みの部屋をお選びください。

また、マイクやプロジェクター、スクリーン、50インチTVモニター、グランドピアノなど備品も取りそろえ、冷暖房設備、FreeWi-Fiの御利用も可能です。

御利用手続など詳しいことにつきましては、県立図書館総務課(Tel:099-224-9511)までお気軽にお問い合わせください。ホームページでも御案内しております。併せて御覧ください。



【約200人（現在40人）収容のシアター型「大研修室」】

【研修室の概要】			
対象施設	収容人数	座席配置	面積(m ²)
大研修室	44人(約200人)	シアター型	342
第1研修室	29人(約60人)	長机約30脚	124
第2研修室	10人(約15人)	長机8脚	62
第3研修室	44人(約90人)	長机44脚	227

※新型コロナウイルス感染症対策のため収容人員を制限しています。



【机の配置が変更可能な「第1研修室」】

図書館で探そう、調べよう！

特定の日付の新聞記事を見たい。

「母が生まれた日の出来事を調べたい」という相談をお受けしました。日付が明確に分かっている新聞記事を探す時は、当館にあるデジタル化新聞（主に南日本新聞系列の新聞や全国紙の鹿児島版の一部をデジタル化したもの）が便利です。一番古いもので、明治15年2月の記事から見るができます（欠号もあります）。操作も簡単で、日付と新聞を選ぶだけで記事にたどり着くことができます。相談された方は、「日々の出来事を書き綴っている新聞が数十年分も見られるというのはとても便利なことだ」と喜んで、お帰りになりました。

また、日付は分からないけれどある特定の事柄について調べているという方も多くいらっしゃいます。そのような時には、新聞記事のデータベース検索が便利です。当館では、南日本新聞、朝日新聞、日本経済新聞のデータベースを利用できます。キーワードでの検索ができるため、具体的な日付が分からなくても記事を探すことができます（ただし、南日本新聞は、平成7年以降）。

デジタル化新聞、データベースともに当館2階のカウンターで申込みをしていただき、無料で利用できます。また、著作権の範囲内であればコピーをして持ち帰ることもできます（白黒1枚10円、カラー1枚50円）。

皆さんの調べ物に、様々な形態の新聞を活用してみませんか？

《一般図書》2月15日（火）

新着図書案内

《児童図書》2月23日（水）

- 『日本の路地』 パインターナショナル/編著 パインターナショナル
- 『それでも君は医者になるのか』 中山 祐次郎/著 日経BP
- 『太陽系観光旅行読本 おすすめスポット&知っておきたいサイエンス』 オリヴィア・コスキー/著 ジェイナ・グルセヴィッチ/著 露久保 由美子/訳 原書房
- 『ピーナッツ大図鑑 スヌーピーとチャーリー・ブラウンと仲間たちのすべて』 サイモン・ビークロフト/著 谷川 俊太郎/訳 望月 索/訳 河出書房新社
- 『ヌマヌマ はまったら抜けだせない現代ロシア小説傑作選』 沼野 充義/編訳 沼野 恭子/編訳 河出書房新社

- 『しあわせぎゅ〜っ！』 ジーン・リーディ/文 ジョーイ・チョウ/絵 木坂 涼/訳 岩崎書店
- 『よそんちの子』 いうた みく/文 池辺 葵/絵 ほるぷ出版
- 『ちいさな虫のおくりもの アリスの心とフェアブルの目』 谷本 雄治/文・写真 文研出版
- 『ソフィーの秘密』 ニキ・コーンウェル/作 渋谷 弘子/訳 中山 成子/画 文研出版
- 『博物館の少女 怪異研究事始め』 富安 陽子/著 偕成社

催し物の御案内

図書館職員のつぶやき

◇ 一般閲覧室ミニ展示

○ 『あなたの“推し”はなんですか②』展
3月1日（火）～3月31日（木）
職員はいろいろな趣味をもっています。それぞれの推しに関する本を紹介し、御覧になることで、読書の幅が更に広がるかもしれません。

◇ 児童文化室ミニ展示

○ 『お手紙、かいてみる？』展
2月23日（水）～3月22日（火）
手紙の書き方や手紙がでてくる本を紹介します。
春は出会いと別れの季節です。お友達に…、先生に…、お手紙を書いてみませんか。

皆さんは、自分が最初に開いた本を覚えていますか？

私は地図帳でした。兄と一緒に地図帳を見ながら、「世界にはどんな国があるのかな？」とドキドキワクワクしながらページをめくったものです。

本を開くと新しい世界が待っています。特に幼少期の本との出会いは格別です。クワガタムシを育てていた頃は、他の種類も知りたくて、昆虫図鑑とにらめっこ。公園で気になる植物を見つけたときは、植物図鑑を片手にひとつひとつ日が暮れるまで観察していました。本が私の世界を広げてくれたと言っても過言ではありません。

児童文化室を覗くと、バッグいっぱい本を借りている子どもたちを見かけます。バッグの中には、子どもたちの「読みたい」「知りたい」が詰まっていることでしょう。本を手に取り、嬉しそうに目を輝かせる子どもたち。今日はいったいどんな世界が皆さんを待っているのでしょうか？

県立図書館に届いた「宝本」エピソード

今回紹介していただいた宝本は、平山 和子/さく の『くだもの』（福音館書店）です。

息子が絵本の言葉をそのまま覚えて、単語でお喋りするようになった頃、家族で平川動物公園に行きました。チンパンジーがバナナを食べる姿を見て、「よく食べてるね」と私が言うと、「じょうずにむけたね」と息子が言ったのです。絵本『くだもの』の最後に登場するのが「バナナ」。そして、最後のページは「じょうずにむけたね」で終わります。何度も読み聞かせていたとはいえ、まだそんなに話せないと思っていた息子が、場に合う言葉を選んで声に出せたことは感動でした。

子どもの成長をサポートしてくれた「宝本」です。



図書館クイズ

にじいろのほん『あおくときいろちゃん』レオ・レオーニ/作（至光社）からのクイズです。

あおくと きいろちゃんは だれとおいかけっこをしたかな？

①おれんじちゃん ②むらさきちゃん ③みどりちゃん

ヒント
くだものと おなじ なまえだね

答え、自分の名前、利用者カード番号を書いて、児童文化室にある箱に、3月13日（日）までに投入してください。正解者のなかから抽選で20人にしおりなどのプレゼントを差し上げます。

前回の答えは「①むぎわらぼうし」でした。たくさんの御応募ありがとうございました。

図書館カレンダー

	日	月	火	水	木	金	土
2月	13	14	15	16	17	18	19
	20	21	22	23	24	25	26
	27	28					
3月			1	2★	3	4	5
	6	7	8	9★	10	11	12
	13	14	15	16★	17	18	19◆

○ 開館時間 火曜日～土曜日：9時～21時
日曜日・祝日（白抜）：9時～17時

■ は、休館日
○ は、学習室のみ開室（9時～17時）
★ は、おはなしのじかん（毎週水曜日15時30分～16時）
◆ は、土曜版おはなしのじかん（第3土曜日 14時～）
◇ は、一般閲覧室新着図書の日（2月24日、3月15日【予定】）
□ は、児童文化室新着図書の日（2月23日）

※ 新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、変更になる可能性があります。